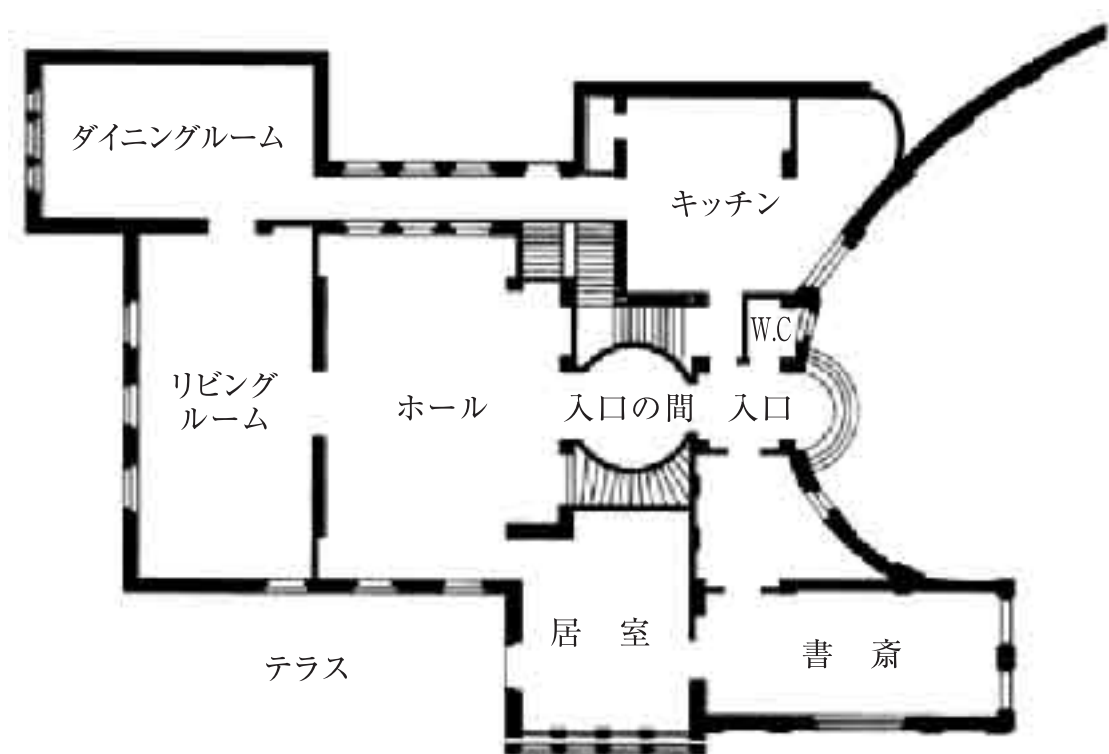


2階平面図



南側立面図



1階平面図



配置図

課題: 狭い細長い土地、後ろは山、前は谷に大邸宅を建てる

解法: 18世紀の邸宅に見られるプラン・シーケンス (入口、入口の間、ホール、リビングという軸にそった進行) を採用した。その先端は山側の擁壁と谷側のスロープが庭口の先の岬で会うようになっている。

・アクロポリスで学んだ“非相称的相称”ー1900年頃の新古典主義の引用に共通して見られるーを採用した。南側ファサード立面図を見ると入口横の書斎、居室、西側庭園に続くリビングーすべて相称的形態ーが重なり合っている。

・ペーレンス事務所で覚えたと思われる黄金比の相似形長方形による比例が用いられている。

ファヴル・ジャコ邸 (1912)